

世界アルツハイマーデーにあわせて認知症への理解を広めます
～認知症になっても安心して暮らせる街を目指して～

千葉市では、世界アルツハイマーデー及び月間に合わせ、認知症への理解を広める取組みを行いますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

認知症はだれもがなりうるものであり、認知症の方が住み慣れた地域で希望を持って暮らし続けられるよう、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として活躍できる社会の構築を目指し、様々な生活の場面における啓発を通して、認知症への社会の理解を深めることを目的としています。

2 概要

(1) 日時

令和2年9月17日（木）～9月23日（水）

(2) 内容

ア ライトアップ

中央公園前の千葉都市モノレール「セントラルアーチ」を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップする。

イ パネル、ポスター掲示等

モノレール千葉駅改札内のステーションギャラリーにおいて、認知症啓発のパネルを展示するとともに、世界アルツハイマー月間ポスター（公益社団法人認知症の人と家族の会作製）をモノレール駅に掲示する。

また、中央図書館において、認知症関連図書の特設コーナーを設置する。

(3) 共催

公益社団法人認知症の人と家族の会 千葉県支部



ポスター

<参考>

1 世界アルツハイマーデー／世界アルツハイマー月間とは

国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機構（WHO）は1994年に国際アルツハイマー病協会国際会議が開催された9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しました。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界各国で認知症への理解や介護者への支援を広める活動を行っています。

2 2020年スローガン

「忘れても出合いが つなぐ この一歩」